

産総研と地域企業

産業振興で連携

表面硬さ測定 高度化

エリオニクス

力学特性評価

エリオニクス（東京都八王子市）は電子ビームやイオンを用いた超微小押し込み硬さ試験装置を研究用として導ナノメートルスケール機ENT-1100を入れた。この時に当社（ナノは10億分の1）商品化した。この試験の装置は、当時非常にの加工・観察・測定機は試料に先鋭なダイヤモンドを製造・販売するメヤモンド圧子をナノメ装置と比べて価格差は1カー。1995年に1トルオーダーで押し込みの性能差はないもの微細領域の加工・観察込み、その時かけた荷重の、ソフトウェアにはを行う顧客層の1割が重と圧子の変位から材改良の余地があること（マイクロは100万の硬さを評価する超微小押し込み硬さ試験機）

超微小押し込み硬さ試験機



超微小押し込み硬さ試験機を用いている。

国際標準化機構（ISO）でこの試験法の国際標準化に向けた議論がスタートした

つかけとなつて当社とウエア性能を引き出果、顧客からも求めら産総研との連携が始まり、かつISOに準拠していたISOへの準した試験に必要なソフトを開発することを目標とした。産総研が数社よりも比較的安価に

ISOに準拠

この連携ではハード

値モデル解析とアルゴリズムの高供給できたため、大学

度化を担当や公的機関だけではなし、当社が民間企業へも顧客層ソフト開発が拡大し、売り上げはと美装を担倍増した。

当した。この連携の結

GNT企業

超微小押し込み硬さ試験機の市場は、より軽い荷重、薄い材料へ最大限活用してきた。理由の一つであった。装置の総合的な機能向上だけでなく、産総研と連携したことで社会的な信頼性も獲得で

超微小押し込み硬さ試験機（超軽荷重型）ENT-3100、機ENT-2100、

一言メッセージ

産総研イノベーション推進本部地域連携推進部 中小企業連携室

山中 忠衛

エリオニクスは、ナノメートル領域の加工・計測器を開発しているGNT企業である。同社と産総研の連携は、旧工業技術院時代から20年以上の実績があり、これからも先端的な技術課題の解決に向けて連携を進めていきたい。

さらに100分の1の超軽荷重の試験機ENT-3100と常に二T-3100と常に二た。14年に当社は経済ーズを先取りした装置産業省の「グローバルの開発を進めてきたニッチトップ企業（Gが、解析ソフトの高度NT企業）100選」化や変位測定の高性能に選定されたが、微小化など連携によって産押し込み硬さ試験機の総研のポテンシャルを販売シェア実績も選定最大限活用してきた。理由の一つであった。装置の総合的な機能向上だけでなく、産総研と連携したことで社会的な信頼性も獲得で

（木曜日掲載）